

最初に考えるのは、職業ではなく、やりたいこと。

就職活動では、注意したい仕事の決め方があります。

職業で決めるのはよくないのです。

「医者になりたい」「弁護士になりたい」「パティシエになりたい」などです。

一見すると、問題ないように思えますが、注意が必要です。

職業が、最初に来るのは理想ではありません。

見栄だからです。

職業で仕事を選ぶのは、見栄が関係しています。

「カッコいいから。世間体がいいから。尊敬されるから」というのは、不純な動機です。

職業の響きだけで仕事を選ぶと、失敗します。

職業だけで決めてしまうと、その仕事に就いた瞬間、夢が達成されます。

「ああ。夢が叶った」と思い、抜け殻になるのです。

どんな仕事も大変です。

一見、カッコいい仕事に見えても、裏舞台は戦争です。

対立やトラブルがあり、泥臭くてつらいことばかりです。

職業の響きだけで決めると、その職業に就いてから「こんなはずではなかった」と、失望しやすくなるでしょう。

では、何を基準に決めればいいのか。

やりたいことです。

一番大切なことは、何をやりたいかです。



人に教えたいのか。

人を笑わせたいのか。

人のけがを治したいのか。

機械を扱いたいのか。

プログラミングをしたいのか。

部屋をきれいにしたいのか。

服をコーディネートしたいのか。

まず、やりたいことがあって、次にそれを実現できる仕事を選びます。

職業の響きに惑わされないことです。

まず必要なのは「自分のやりたいこと」です。

そのやりたいことを実現する手段として、職業を考えるのです。

就職活動で自己分析をする方法 その10

職業より、やりたいことを、最初に決める。